



緑の園



11月号

ヒルトップハイツ

グリーンプラザ



デイサービスセンター

だより



第89号

令和5年11月1日発行

Alpha/ASIA(1983)

いよいよ暦は霜月、朝起きると 外は雪!…。そんな季節です。

とうとう、今年も11月。11月の行事といえば「七五三」がありますが、旧暦の11月15日は何をしても吉となる最良の日とされていたそうです。

11月の話題では「いい日、いい日、毎日あったか介護ありがとう。」-介護の日-があります。

「介護の日」は介護についての理解と認識を深め、介護サービス利用者及びその

家族介護従事者等を支援するとともに、これらの人々を取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から高齢者や障がい者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施する日を設定した介護の日がありますが、少し前の今年の6月、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が成立しました。

この法律は認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって

暮らすことができるよう認知症施策を総合的かつ、計画的に推進することを目的として認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊

重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会(=共生社会)の実現を推進していくというものです。

この法律の第9条には「認知症の日」を9月21日にそして認知症月間として9月を定めています。

認知症のお年寄りの人数は令和7年(2025年)には675万人になるという推計があり、65歳以上のお年寄りの18.5%にも昇ります。

この再来年に迫った状況を「幸齢社会」とするためにこの法律ができました。

以前、私はあるお年寄りから「(今までできていたことができなくなって)生きているのがつらい。周りの人に迷惑をかけるからもう死にたい…。」と伺ったことがあります。

その方の場合は「認知症」というよりは身体的な不自由が主な理由ではありましたが、別の方の訴えは「今までできていたことができなくなることへの不安」を

口にしていた方ともお会いしました。

特に「認知症」の方々は「わからなくなった」ことが「わかる」のでそのことに悩んでいるし日頃から不安を抱えていますので、その不安や悩みを少しでも理解できるよう「認知症」という病気の正しい知識を持つことはとても大切で重要なことであると思います。(終わり)





ボランティア活動 ありがとうございます。



養護老人ホーム緑の園
へ昨年の10月から入園
されておられるお年寄り
の方々に対して体操とレ
クリエーション活動を秋
葉様にご提供いただいて
おります。



途中、新型コロナウイ
ルスの感染状況により中断されることもありましたが、毎
週水曜日の午後2時から1時間程度楽しい時間を過ごして
います。

そして、先月の16日(月)丸瀬布保育所園児さんの「幼
年消防クラブ」の皆さんの訪問をいただきかわいらしいお
歌をご披露いただきました。

皆さんかわいらしい姿に終始にこやかな表情でごらんにな
られてました。ありがとうございました。



10月にはこんなことが
ありました。



先月の3日(火)緑の園
/グリーンプラザの職員研
修を、札幌大名譽教授
武田秀勝先生にお越しい
ただき「最高の仕事で
できる幸せな職場」という
タイトルでご講義いた
だきました。



「最高の仕事ができる」ためには働く自分の免疫力を高
めることが必要であること。

運動に関しては1日4000歩のの歩行でも十分効果が
あり死亡リスクが減少するそうです。

なにより「楽しんで」食事すること・運動することが免
疫力を高めるNK細胞を活性化すること、そして「人のた
めに働いている人が一番幸せ」とお話しされました。

1時間余りの講義の時間でしたが時間を感じさせないほ
ど充実した職員研修でした。

18日(水)には緑の園において「衣料販売会」を開催い

たしました。

5月26日に1回目を開催いたしました、好評だっ
たため今年2回目を開
催いたしました。

今回は、ちょうど衣
替えのタイミングにも
重なりとても盛況でし
た。

グリーンプラザのご
利用者様も参加されて
ほんの少しではありましたが、自分で選ぶことができる
買い物を楽しめたのかと思います。

デイサービスにおきましては16日から19日にかけ
深まる秋の紅葉を楽しんでまいりました。



今月もどうぞよろしく
お願いいたします。



11月9日は「119番の日」です。

防火・防災意識の掲揚のため1987年に消防庁によ
って制定された記念日ですが、防火に「火の用心」とい
う言葉はつきものですが、この「火の用心」のでどころ
は徳川家康の家臣「本田作左衛門」が家族にあてた手紙
「一筆啓上、火の用
心、おせん泣かすな
、馬肥やせ」からだ
そうです。

で、この「本田作
左衛門」を職員に向
かって「あなたは、

ほんださくざえもんですかあ…」と話しかけてくるお
ばあちゃんがありました。

皆、始め私は何もわからず「そうですよ、私がほんだ
さくざえもんですよ」と答えていましたがこの人のこ
とだったんですね。(うそついてました、ごめんなさい)

私が駆け出しのころの入園者さんで、彼女からとても
たくさん貴重なことを学びました。(この度、30数年の時を
経て、本田作左衛門さんとはどんな人かを知りました。)

今月もどうぞよろしく申し上げます。(おばら)

